

平成30年9月6日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02660

研究課題名(和文)「帝国臣民」と「日系市民」の教育 米国版およびハワイ版『日本語讀本』の比較研究

研究課題名(英文) Education for "Teikoku Shinmin" and "Nikkei Shimin": A Comparative Analysis on Japanese Readers Published in the US Mainland and Hawaii

研究代表者

森本 豊富 (Morimoto, Toyotomi)

早稲田大学・人間科学学術院・教授

研究者番号：30230155

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、1920年代から30年代にかけて北米・ハワイ各地で編纂された日本語教科書『日本語讀本』の編纂過程と内容を分析すると同時に、同時代に「帝国臣民」養成の目的で編纂された文部省国定国語教科書(『尋常小学讀本』等)と比較することを目的とした。内容分析については、カリフォルニア版『日本語讀本』を分析し、その結果を共編著の中で報告した。また、ワシントン大学図書館スペシャルコレクション及びワシントン州立歴史協会所蔵のタコマ日本語学校関連日本語教科書、副教材、学級日誌などの一次史料に関する目録を作成した。さらに、ハワイ大学マノア校所蔵史料の複写し、布哇日系人会館所蔵日本語学校関連史料を目録化した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to analyze the contents of Japanese Readers published in the US mainland and Hawaii in the 1920s and 1930s, and compare the contents of these textbooks and those of the Japanese Ministry of Education in the prewar period. In terms of the content analysis, I chose a California version of Japanese Readers and published research results in a co-authored book.

We also created a catalogue for Japanese textbooks, teaching materials, and students' group work logs and the like which were found in the Washington State Historical Society and Washington University Library Special Collections. In Hawaii, we digitally photographed some of the Japanese textbooks preserved at the Hamilton Library, University of Hawaii Manoa. We also catalogued Japanese Readers and other Japanese language school related materials at the Hawaii Japanese Center at Hilo, Hawaii.

研究分野：移民研究

キーワード：日本語学校 日本語讀本 北米 シアトル カリフォルニア ハワイ

1. 研究開始当初の背景

移民地における日本語教科書分析については、ブラジルの日本語教育史に関する研究(中東、2008-2011)、第2次世界大戦期日本語教育振興会の活動の中での教科書分析(長谷川、2006-2008)、植民地・占領地の教科書に関する比較研究(宮脇、2006-2008)、植民地および内地編纂の国語読本の国語学的研究(酒井、2003-2005)などがある。これらの先行研究の中では、特に宮脇の研究が国定国語教科書との比較を行っている点で参考になる。

戦前・戦時期の日本語教科書については前田(2005)が『日本語教科書目録集成』をまとめている。しかし、教科書本体は、最近になってハワイ版(2012)、シアトル版(2012)、カリフォルニア版(2014)の『日本語讀本』復刻版が出版されたばかりである。これらの復刻版教科書には解題があり、シアトル版はマック(2012)、ハワイ版は高木(2011)、カリフォルニア版はマック、森本、坂口(2014)が手がかりとなる。本研究では、戦前の北米・ハワイにおける日本語教科書を文部省の国定教科書内容と比較することにより、当時の日系二世に対する日本語教育の実情を知ることが期待できる。

2. 研究の目的

本研究は、1920年代から30年代にかけて北米・ハワイ各地で「日系市民」の育成を目的として編纂された日本語教科書『日本語讀本』の編纂過程と内容を分析すると同時に、同時代に「帝国臣民」養成の目的で編纂された文部省国定国語教科書(『尋常小学讀本』等)と比較する。戦前のアメリカで編纂された教科書には、シアトル版、カリフォルニア版、ハワイ版があるが、それらの復刻版が2012年から2014年にかけてあいついで出版された。本研究では、これらの復刻版を詳細に分析すると同時に、復刻版に所収されていない教科書の蒐集を各地で行い、国定教科書も含めたこれらの教科書がどのように使用されていたのかについて資料調査、聞きとり調査を実施し、北米・ハワイにおける戦前の日本語教育の実情を明らかにしたい。具体的には、

(1) 復刻版に所収されていない日本語学校教科書、改訂版と関連する資料(副教材、生徒の作文集、編纂趣意書など)の蒐集、聞き取り調査を行い、戦前の日本語学校において何がどのように教えられていたのかを明らかにする。

(2) 教科書編纂の方針と編纂過程について、各地で発行されていた邦字紙や関連文献を州のアーカイブスや大学図書館、移民関連施設などで調査することによって、一世教育者による編纂の意図を読み取る。

(3) 各地の『日本語讀本』の内容を比較分析することによって地域的な類似点と相違点を整理すると共に、『尋常小学讀本』等

の国定教科書との比較において「帝国臣民」教育と「日系市民」教育がそれぞれの教科書にどのように反映されていたのかについて明らかにする。

3. 研究の方法

初年度は東書文庫(東京書籍)での『尋常小学讀本』を中心とした国定教科書の内容分析を行うと同時に、シアトル(ワシントン州)、サクラメント(カリフォルニア州)、ホノルル(ハワイ州)の州政府アーカイブス、各州の大学図書館、日系関連資料館において関連資料及び復刻版に未収の教科書や改訂版の発掘を試みる。また、関連する邦字紙の記事などの文献調査を実施すると同時に、関係者への聞きとり調査も積極的に行う。2年目は、初年度の調査結果を踏まえて継続的な調査を実施しながら、各州間の相違点・類似点を抽出すると同時に、国定教科書の内容と照らし合わせ、聞きとり調査も継続する。3年目は、補足的な調査を実施しながら、2年間の調査結果をまとめ、学会報告と学術誌投稿、編著の出版準備を行う。

4. 研究成果

初年度(2015年度)は森本、坂口がワシントン州タコマ及びシアトル、森本がハワイ島ヒロ、坂口がオアフ島ホノルル、ハワイ島ヒロ、コナで日本語学校関係資料を調査した。

ワシントン州タコマではWashington State Historical Society Research Centerが管轄するスペシャル・コレクションで集中的に調査した。日米開戦直前までタコマ日本語学校が所蔵していた教科書、副教材、教育関係図書ならびに生徒の学習ノートなど100箱以上が今日までほとんど整理されることなく埋もれていた。今回の調査では、同資料群のなかから国語教科書ならびに日本の国定教科書すべてを取り出し、科目別・巻数別に並び替え、目録を作成した。また、タコマ仏教会で元タコマ日本語学校の生徒であった人物と面会し、タコマ日本語学校時代ならびに2014年にワシントン大学タコマ校キャンパス内に建立された日本語学校記念碑について聞き取り、見学することができた。また、シアトルのワシントン大学図書館スペシャル・コレクションに移管されたタコマ日本語学校関連の貴重な一次史料も閲覧し、デジタルカメラで撮影した。

ハワイ州では、坂口がハワイ州ホノルル、ヒロ、コナにおいて日本語学校等を併設していた寺社を訪問し関係資料を調査した。また、本願寺ハワイ別院において数名の京都女子学園の同窓生と面会し、ハワイ同窓生の近況を知ることができた。森本はハワイ島ヒロにおいてHawaii Japanese Center所蔵の日本語教科書を整理しデジタルカメラに収めた。また、約3000冊の和書を現地スタッフらの協力を得て分類整理し、日本語教育や教育一般に限らず、ハワイ島ヒロにおける日本人移

民、日系人研究に資する基盤作りにも役立つように努めた。

2 年目(2016 年度)は、ワシントン大学において同大学図書館所蔵資料の継続調査を行った。また、Hawaii Japanese Center 所蔵日本語学校教科書の整理、ハワイ大学マノア校のハミルトン・ライブラリー所蔵教科書及び日本語学校関連資料の閲覧、複写を行った。ワシントン大学東アジア図書館所蔵タコマ日本人会関連資料の調査では、6 月に森本が主な資料をスキャンし PDF で保存した。タコマ 日本人会資料、日本語学校関連資料の他に明治 28 年発行の旅券なども含まれていた。

2016 年 5 月に森本が Hawaii Japanese Center (布哇日系人会館)を訪れ、同センター所蔵の日本語教科書のうち、1936 年、37 年に発行された布哇教育会発行の「日本語讀本」19 冊と、戦後の教科書のうち 1956 年、57 年に発行された「にっぽんご」5 冊をスキャンし一覧を作成した。

同年 8 月には森本、坂口が、Hawaii Japanese Center で調査を実施した。森本は、前回 5 月に閲覧・スキャンしたのものも含め、戦前の教科書の分類を行い、目録を作成した。坂口は、布哇日系人会館において調査しデジタルカメラ撮影した。ハワイ島にあった日本語学校や高等女学校の校友会誌、同窓会名簿を多数閲覧することができ、日本語学校で学んだ学生たち一人ひとりの個性やその後の進路を追跡する基礎ができたといえる。また、布哇日系人会館に寄贈された個人資料の中から 1941 年 12 月の日米開戦当時のことを記載した日記、アメリカ本土の収容所からハワイへ帰還してくる過程を記した手記、1950 年代～1980 年代にかけての熊本同志会の活動記録(部分)などを見ることができた。これらはいずれも断片的なものであるため、歴史を書き換える新たな発見というレベルのものではないが、数少ない体験記の実物として貴重なものである。

最終年度となる 2017 年度には、11 月 9 日から 17 日にかけて(1)サンフランシスコでの調査および(2)スタンフォード大学フーパー研究所での発表を行った。(1)については、National Japanese American Historical Society と Japanese American National Library、金門学園を訪問した。Japanese American National Library では、館長との話の中で、戦前ロサンゼルス地域にあった日本語学校で使用していた日本語教科書が一部保管されているとの紹介があり、継続的な調査の中で、その存在を明らかにしたい。(2)については、Hoover Institution Library & Archives で開催された The First Japanese Diaspora Initiative において研究成果の報告を"Caught between Teikoku Shinmin and Nikkei Shimin: Japanese Language Schools and their Textbooks in Hawaii, Washington and California in the 1920s

and 1930s."とのタイトルで行った。発表では、ハワイ、カリフォルニア、ワシントン各州に 1893 年～1939 年まで設立された日本語学校の数を 図表で示した後に、外務省外交史料館所蔵資料にある「日本語学校調査一件」(1935)をもとに、各州で使用された北米・ハワイ版『日本語讀本』と文部省国定教科書の使用割合について明らかにした。また、ワシントン州タコマ日本語学校での一次史料をもとに、その裏付けとなる調査結果について触れた。さらに、北米における異なる種類の日本語教科書の内容分析結果についても報告した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 0 件)

[学会発表](計 9 件)

森本 豊富「北米におけるオーラルヒストリーのデジタルアーカイビング—UCLA JARP Collection を中心に」JOHA シンポジウム オーラルヒストリーのアーカイブ化を目指して(日本オーラルヒストリー学会) 2018 年 3 月 17 日.

Toyotomi Morimoto, "Caught between Teikoku Shinmin and Nikkei Shimin: Japanese Language Schools and their Textbooks in Hawaii, Washington and California in the 1920s and 1930s." The First Japanese Diaspora Initiative, The Hoover Institution, Stanford University (国際学会) 2017 年 11 月 3 日.

森本 豊富「日本における移民研究の動向」説明聴取会(国立国会図書館) 2017 年 10 月 18 日.

森本 豊富「ある沖縄系ハワイ帰米二世と第二次世界大戦」沖縄外国文学会第 32 回大会 2017 年 06 月 17 日.

坂口 満宏「京女で学んだハワイの日系人」京都女子大学文学部史学科春季公開講座、2017 年 5 月 26 日.

坂口 満宏「名簿と地図から考える出移民の歴史」近世史フォーラム 11 月例会 大阪市生涯学習センター、2016 年 11 月 26 日.

坂口 満宏「北米に渡った熊本県からの移民と郷里とのつながり」アメリカ学会第 50 回年次大会、東京女子大学、2016 年 6 月 5 日.

坂口 満宏「共同研究「移民の衣食住」に関する先行研究について」マイグレーション研究会 2016 年度 3 月例会.

坂口 満宏「『伯刺西爾行移民名簿』を用いた出移民研究の方法について」マイグレーション研究会 2015 年度 10 月例会、2015 年 10 月 3 日。

〔図書〕(計 3 件)

森本 豊富(2018)「比嘉トーマス太郎の「巡講」 戦時下米大陸における講演旅行」細川周平編著『日系文化を編み直す 歴史・文芸・接触』第 8 章 pp.125-144.

森本 豊富(2017)「『帝国臣民』と『日系市民』の狭間で 『米國加州教育局検定 日本語讀本』の編集と内容分析」根川幸男・井上章一 共編著『越境と連動の日系移民教育史 複数文化体験の視座』ミネルヴァ書房 pp.33-52.

坂口 満宏(2017)「1930 年代の福島県に在留した日系二世」根川幸男・井上章一 共編著『越境と連動の日系移民教育史 複数文化体験の視座』ミネルヴァ書房 pp.413-430.

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

森本 豊富 (MORIMOTO, Toyotomi)
早稲田大学・人間科学学術院・教授
研究者番号：30230155

(2) 研究分担者

坂口 満宏 (SAKAGUCHI, Mitsuhiro)
京都女子大学・文学部・教授
研究者番号：30298682

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()